

学習課題(小学校3年生)

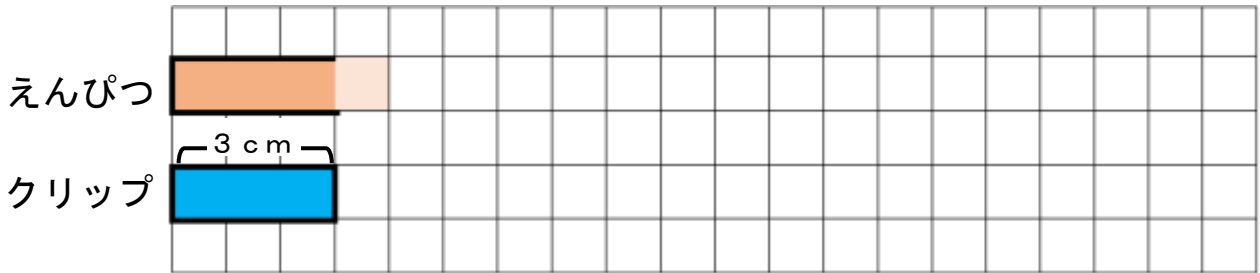
【算数】

<学習内容>◆「わり算～倍の計算～」(教科書 61～63 ページ)

10

えんぴつの長さは18cmで、クリップの長さは3cmです。
えんぴつの長さはクリップの長さの何倍でしょうか。

問題を図に表してみよう！



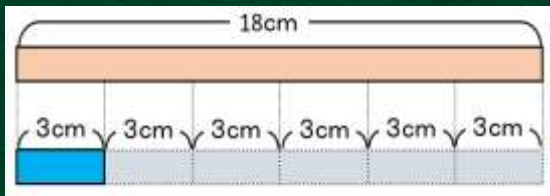
何倍かはどうやってもとめたらいいのかな？

しき
式

答え

2人の考えはどんな考えかせつ明してみよう。

かえでさん



かえでさんの考えのせつ明

みなとさん

$$3 \times \square = 18$$

□にあてはまる数は、
 $18 \div 3 = \square$

みなとさんの考えのせつ明



どちらも $18 \div 3$ をして倍をもとめているね。

何倍かをもとめるときは、わり算を使うことができます。

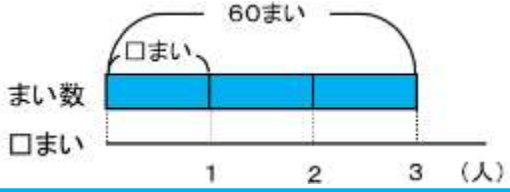
「いくつ分」をもとめる
わり算ということだね。



教科書 62 ページのた
しかめ **8** をノートに取り
組んでみよう。

11 60まいのおり紙を3人で同じ数ずつ分けます。
1人分は何まいになるでしょうか。

今までのわり算と少しちがう気がするよ！

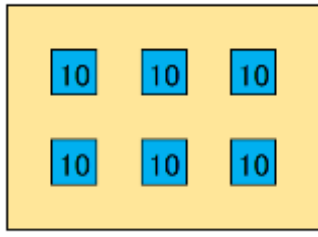


今までのわり算とくらべて気がついたことを書こう。

しき式

九九ではすぐ答えをもとめられないわり算は、どうやって計算すればいいのかな？

図や式をさんこうにして計算のしかたを考えてみよう。



文で書いたり、図や式に言葉をつけたしたりして、自分の考えを書いてみましょう。

$6 \div 3 = 2$

$60 \div 3 = \square$

答え

10のまとまりが6こあるとみて、計算すればできる。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。
 ◆わり算～倍の計算（教科書 P61～63）、答えが2けたになるわり算（教科書 P63～64）～
 ・図の説明をする箇所は「18 cmの中に3 cmのテープはいくつつ分入るかな？」などと、3 cmがいくつつあるかを問いかけてあげると、何倍かを求めるにはわり算を使うということをつえられるようになっていきます。
 ・ $60 \div 3$ を $6 \div 3$ として計算を考えることがよくあります。「図の中に6こあるものはないかな？」などと問いかけてあげることによって、0を消すという方法が「10のまとまりとしてみるから0を消して考えてもよい。」という気づきを生み、計算の理解を深められます。